

令和6年2月1日
(2024年)

西宮市長 石井 登志郎 様

西宮市公共事業評価委員会
会長 岸野 啓一

山口南幹線整備事業（答申）

令和5年10月30日付西政推発第13号で諮問のあった標記事業の事前評価について審議した結果、次のとおり答申します。

記

標記事業については、計画どおりの実施が妥当と判断する。

ただし、事業の実施にあたっては、以下の意見を附す。

- 1 まちづくりの観点から、周辺地域への経済効果についても検討が望まれる。
- 2 CO2発生量予測については絶対値（with-without分析に加え、before-after分析）での比較が必要であると考え。また、交通量が増える中で、住宅地における騒音予測をしておくことが望ましい。
- 3 建設コストが増加する傾向にある中で、できるだけ計画段階において経費増加のシミュレーションを行うなど、状況に応じて適切に対応する準備をしておくことが望ましい。
- 4 歩道の幅員構成については、自転車の通行の可否などを検討し、精査していただきたい。その際、自転車の交通量調査などのデータがあればより望ましい。また、歩道の整備については、透水性舗装だけに頼らず、排水計画なども検討していただきたい。
- 5 歩道の機能については、周辺住民の利用の仕方などを考慮して適切な構造となるよう引き続き精査していただきたい（歩道の勾配、交差点におけるユニバーサルデザインなど）。

以 上